

活動番号 ■ 旧街道ウォーク 3 1 3

テーマ ■ 日光御成街道ウォークその 6（岩槻宿～和戸）

日 時 ■ 2006 年 10 月 29 日（日） 11 時～ 17 時（オプション 9 時 30 分～ 11 時）

集 合 ■ 東武野田線岩槻駅改札口 11 時（オプション 9 時 30 分）集合

コース ■ 岩槻駅～愛宕神社～岩槻区役所～浄安寺～久伊豆神社～龍門寺～慈恩寺～相野原の一里塚～宝国寺～紅葉大門跡～往還橋（隼人堀）～大徳寺～下野田の一里塚～鷺宮神社～国納橋（備前堀川）～和戸駅（約 11km）

* オプションコース：岩槻駅～芳林寺～愛宕神社～裏小路～時の鐘～岩槻城城門～岩槻公園～岩槻城二の丸跡～浄安寺～久伊豆神社～龍門寺（岩槻城下内で 12 時ごろまでに後発グループと合流）

その他 ■ 雨天の場合は、11 月 23 日（木）に延期します（不明の場合は下記の大竹、古里までお電話ください）。日光御成街道ウォークホームページにも案内します。
<http://homepage2.nifty.com/econet-urawa/kyuukaidou/index.html>

連絡先 ■ 大竹 亮（旧街道ウォーク代表、NPO 全国街道交流会議理事）

E-mail :otkr@zd6.so-net.ne.jp

古里実 hurusato.minoru@nifty.com

【今回の見どころ】

江戸から九里の岩槻宿から、十里の相野原の一里塚、十一里の下野田の一里塚と二つの現存する一里塚をたどります。埼玉自然百選に選ばれている久伊豆神社や、少し脇に入りますが、平安時代初期に開山した慈恩寺は、その歴史が味わえます。

また、元荒川、隼人堀川、備前堀川といくつかの川を渡りますので、その付近の旧道を推理してみてください。

なお、9 時半からのオプションコースでは、前回時間が短くご覧になれなかった岩槻城下をご案内します。早起きできる方はこちらから参加ください。

【解説】

「日光御成街道」は、江戸日本橋を起点に中山道の本郷追分から岩槻城下をへて日光街道の幸手追分に至る 5 宿 12 里（約 47 キロ）の街道である。歴代徳川将軍が家康を祀った日光東照宮への参詣に利用したことからその名があり、経路地をとって「岩槻街道」とも言う。

途中、岩淵宿、川口宿、鳩ヶ谷宿、大門宿、岩槻宿の 5 宿が設けられたが、岩槻は親藩の城下町でもあった。道筋は中世鎌倉街道・中道（鎌倉と古河を結ぶ重要路線）が原形となっている。将軍の鷹狩りに用いられた中原街道（東海道の別路）や東金御成街道などと同様に、本来の街道筋を短絡する経路を採り、諸大名の参勤交代の通行が禁じられた別格扱いの「御成道」である。

【沿道風景】

広大な関東平野の台地や低地を数多くの川を越えて横切っている。東京都内はさすがに市街化しているが、沿道に江戸の歴史が現在も様々な形で色濃く残る。埼玉県内では郊外部になるが、城下町、宿場町や農村集落の風情がかつての姿を感じさせる。

地図番号と解説■

- 34 浄国寺：岩槻藩主、阿部家の菩提寺でもあり、阿部氏の墓所がある。
- 35 市宿通り：市は中世末から盛んであったもので、慶長6(1601)年には岩槻城主高力清長から市掟が出されており、近世を通じて毎月1・6日を市日とする六齋市であった。
- 36 郷土資料館：1930(昭和5)年建設の旧岩槻警察署。
- 37 芳林寺：墓地内には5代岩槻城主太田氏資の高さ1.14mの宝きょう印塔がある。1871(明治4)年、岩槻に県庁が置かれた際、40日ではあるが、仮庁舎となった。
- 38 鈴木酒造：創業125年記念で造った酒造資料館がある。内部は酒造りの道具や資料が並ぶ。
- 39 岩槻藩遷喬館：岩槻藩士で儒学者、児玉南可が1799(寛政11)年に開いた私塾。1820(文政3)年藩主大岡忠固が南可の功績をたたえて藩学所とした。
- 40 時の鐘：寛文11(1671)年に設置された岩槻城の鐘楼。現存の鐘は享保5(1720)年に改鋳されたもの。
- 41 愛宕神社：岩槻城の外郭で、土塁・堀・道路の順で築かれているが、愛宕神社とその付近にのみ現存している。
- 42 岩槻城跡(岩槻公園)：別名白鶴城とも呼ばれた、台地を利用した平城の跡で土塁の一部が今も残る。初期の岩槻城は、1457(長祿元)年、太田道真と子の道灌が築城したといわれる。
- 42 岩槻城黒門：1770(明和7)年につくられた裏門が移築保存されている。
- 43 浄安寺：京都知恩院の旧末寺。岩槻城主、高力清長(家康三河時代の三奉行の一人)の墓がある。山門は岩槻城の門を移したと伝える。
- 44 久伊豆神社：欽明天皇の代に出雲の土師連が創建したと伝える。祭神は大国主命。歴代岩槻城主の信奉を集め、岩槻城の鎮守社であった。広い境内には樹齢三百年といわれる大サカキをはじめ、シイ、クスノキ、ケヤキなどの樹木が茂る。埼玉県ふるさと森と埼玉県自然百選に選ばれている。
- 45 龍門寺(曹洞宗)：七福神が迎えてくれる。岩槻城主大岡忠光の墓がある。鎌倉時代の刀工、助真の作といわれる刀剣などが今に伝わる。寺域は、中世の頃、佐枝氏の館であったといわれている。
- 46 慈恩寺橋(元荒川)
- 47 慈恩寺(天台宗)：坂東12番札所である。平安時代初期、寺覚大師円仁の開山と伝える。江戸時代には、徳川氏や累代の岩槻城主から保護を受け、寺領100石の朱印寺であった。境内には、江戸後期建立の本堂手前に、1589(天正17)年に太田氏の家臣伊達与兵衛房実が寄進した南蛮鉄灯籠がある。寺の南、低地を挟んだ丘の上に玄奘三蔵の霊骨塔(十三重塔)がたっている。
- 48 相野原の一里塚：江戸から十里。東塚は工場の造営により元のもの破壊されて、二代目の小さな塚が作られている。西塚は、県道の拡幅工事の為に半分割りとられてしまっている。
- 49 宝国寺(曹洞宗)：将軍社参のときに仮の御茶屋を設けたという場所が残されている。
- 50 紅葉大門(地名)：「新編武蔵風土記稿」に記載。将軍社参の休処であったといわれる地。
- 51 往還橋(隼人堀川)：地元の人たちは義理橋と呼ぶ。将軍社参の行列を村人が出迎えたといえられる地。
- 52 大徳寺：鎌倉時代作と考えられる大日如来像を安置。
- 53 下野田の一里塚：日本橋から数えて十一番目の一里塚。街道を挟んで二基の一里塚が現存しているのはここだけである。
- 54 鷲宮神社
- 55 国納橋(備前堀川)
- 56 和戸駅(東武伊勢崎線)



